赤ちゃん医学から生まれた

Easy-Touch Fitta

取扱説明書／保証書

ヨコ抱っこ

タテ抱っこ

前向き抱っこ

おんぶ

兼用タイプ

新生児から体重15kgまでのお子さま1人用子守帯です。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
お読みになった後は、**本書は必ず保管していただき、必要に応じてお読みください。**

もくじ

09-08

09ETFT-00

ご使用前に

子守帯について

・この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。
ご使用の前にP5「各部の名称」をご確認ください。

保護者の方へのアドバイス

・子守帯（ヨコ抱っこ）は生後すぐから使用できるので、ちょっとした外出にも子守帯の使用を習慣にしてください。
・お子さまの乗せ降ろしは必ず安全な場所で行ってください。また、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

表示内容について

・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠警 告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注 意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
🚫禁 止	製品の取り扱い禁止の行為です。絶対してはいけません。

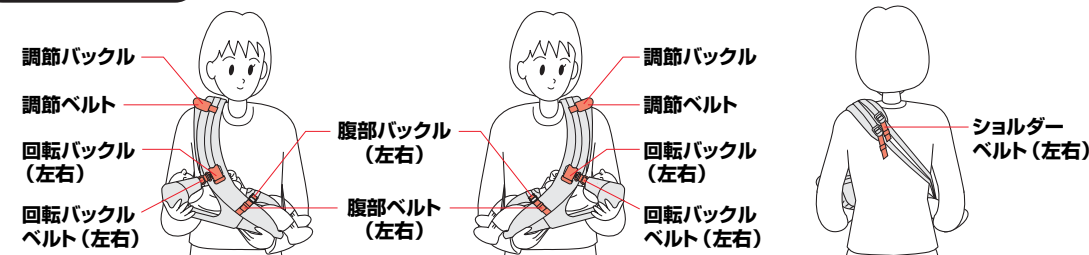
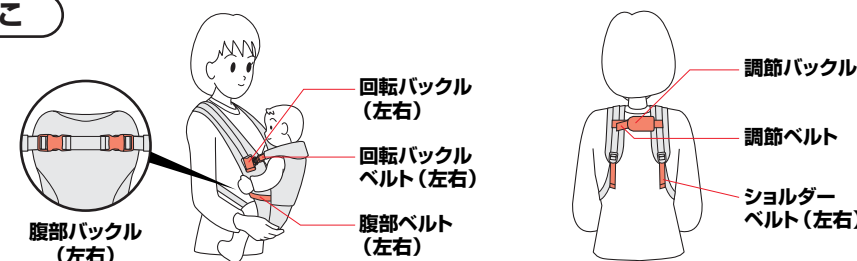
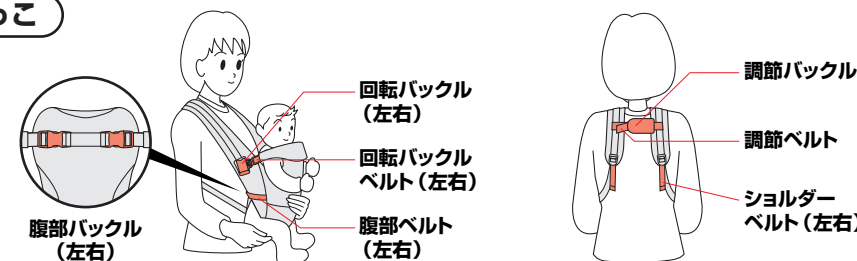
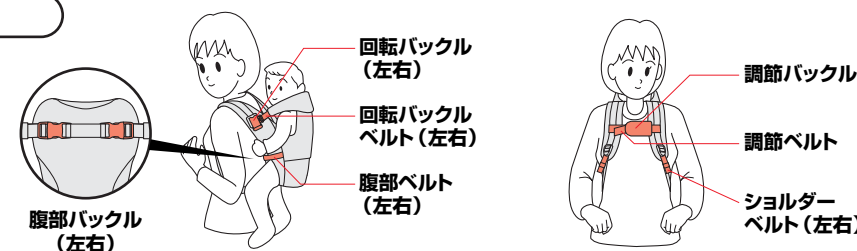
使用できるお子さまの月齢について

・お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

参考月齢	0月　首すわり（4月頃）　6月頃　腰すわり（7月頃）　12月頃　24月頃　36月頃	体　重
ヨコ抱っこ	生後すぐから腰がすわるまで（6月頃まで）	8kgまで
タテ抱っこ	首がすわってから（24月頃まで）	13kgまで
前向き抱っこ	腰がすわってから（24月頃まで）	13kgまで
おんぶ	首がすわってから（36月頃まで）	15kgまで

・お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できないおそれがあります。

安全にお使いいただくために

・ご使用の際は、バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。
・ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

・装着者の適用ウエストサイズの目安は58cm〜98cmです。
・体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

⚠警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。

回転バックル、調節バックル、腹部バックルを外した状態で使用しない。

回転バックルベルト、調節ベルト、腹部ベルト、ショルダーベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。

立ったままお子さまを乗せ降ろししない。

走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。

ヨコ抱っこでは、寝返りができるお子さまや、体重8kgを超えるお子さま、また、ヘッドサポートから頭部が出るお子さまに使用しない。

ヨコ抱っこでは、ショルダーベルトを頭部と片腕を通し、お子さまを両手で支えて使用する。

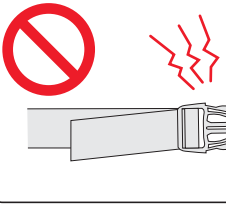
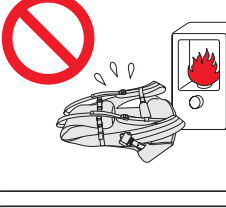
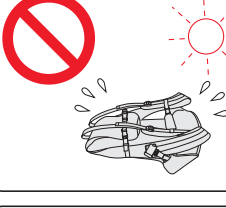
ヨコ抱っこでは、お子さまの頭部をお尻よりも高い位置にして必ず後頭部を手で支えて使用する。

タテ抱っこ、前向き抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。

タテ抱っこ、前向き抱っこでは、お子さまを両手で支えて使用する。

おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。

使用者が体調を損なうおそれがあります。

授乳後30分以内や、連続2時間以上使用しない。

装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止する。特に、授乳期のお母さまはおんぶをしない。乳房を圧迫するおそれがあります。

⚠注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

バックルの開口部にお子さまの手指を入れない。

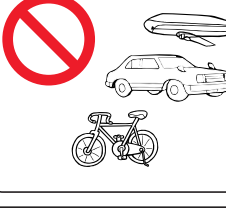
バックルなどの部品の破損につながる過度な力を加えない。

火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに放置しない。

直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。

・前向き抱っこ、おんぶでは、お子さまの顔が見えませんので約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

・ヨコ抱っこ、タテ抱っこ、前向き抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。

⃠禁止 ・次のような使用は絶対しないでください。

ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後の使用。

バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態での使用。

屋外に放置し、雨などにさらした後の使用。

電車、バス以外の乗り物での使用。

その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。

製品を取り出した時に

・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

〈各部の名称〉

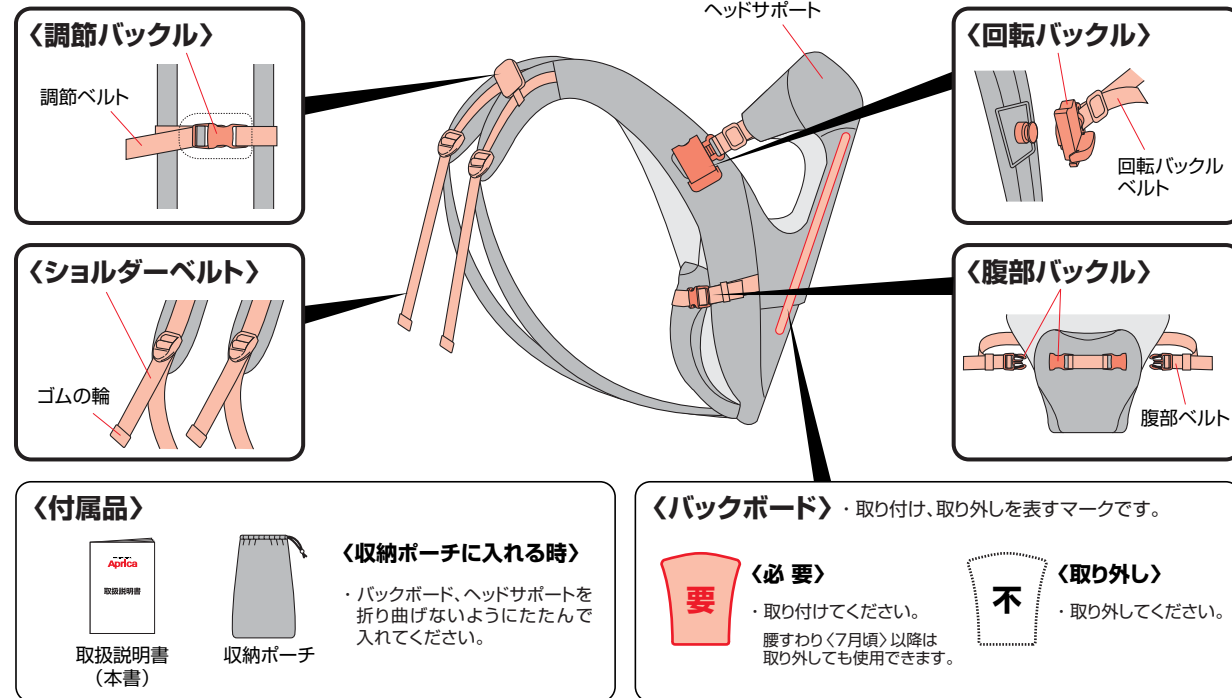
〈付属品〉

取扱説明書（本書）　収納ポーチ

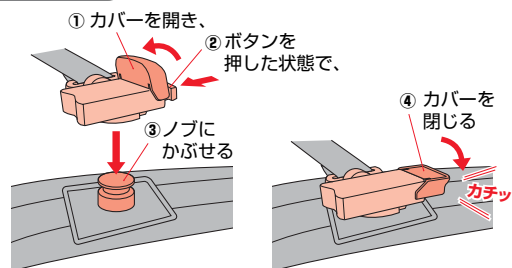
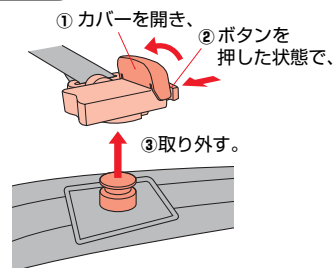
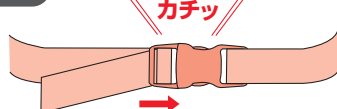
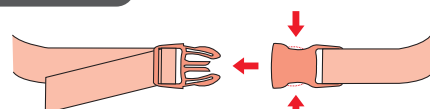
〈収納ポーチに入れる時〉
・バックボード、ヘッドサポートを折り曲げないようにたたんで入れてください。

〈バックボード〉・取り付け、取り外しを表すマークです。

要 〈必 要〉
・取り付けてください。
腰すわり〈7月頃〉以降は取り外しても使用できます。

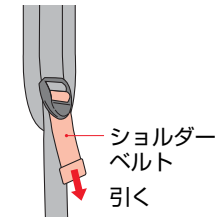
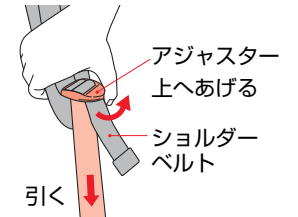
不 〈取り外し〉
・取り外してください。

バックルの使い方

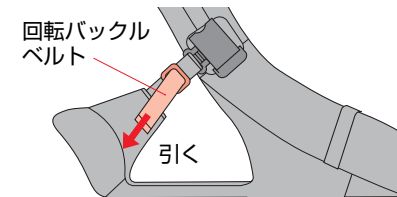
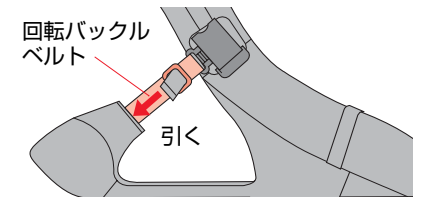
・バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

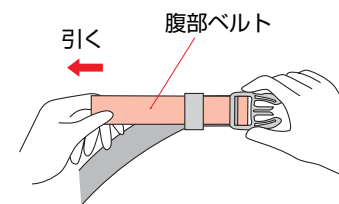
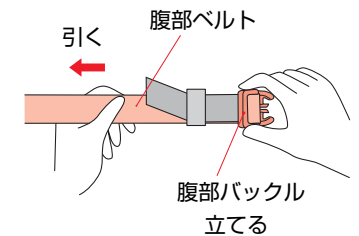
〈回転バックル〉

各部の調節方法

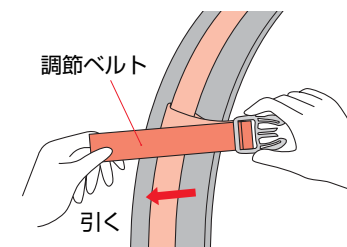
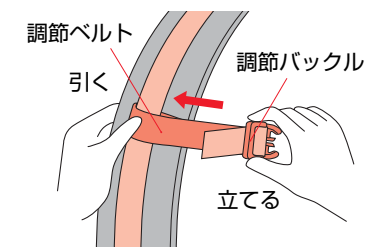
・ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

〈ショルダーベルト〉

短くする時

長くする時

〈回転バックルベルト〉

短くする時

長くする時

〈腹部ベルト〉

短くする時

長くする時

〈調節ベルト〉

短くする時

長くする時

ヨコ抱っこの準備

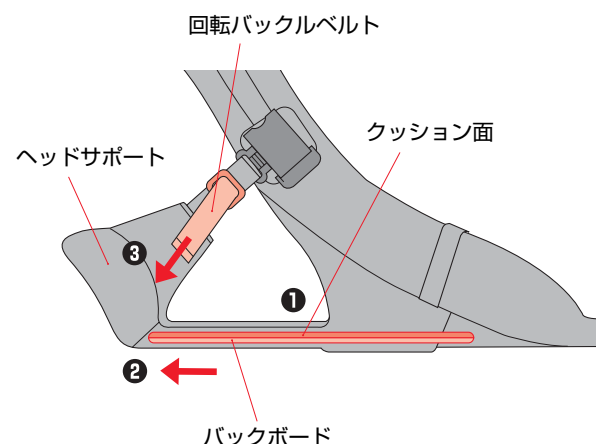
〈0月頃〉〜〈6月頃〉
（生後すぐ）（腰すわり）

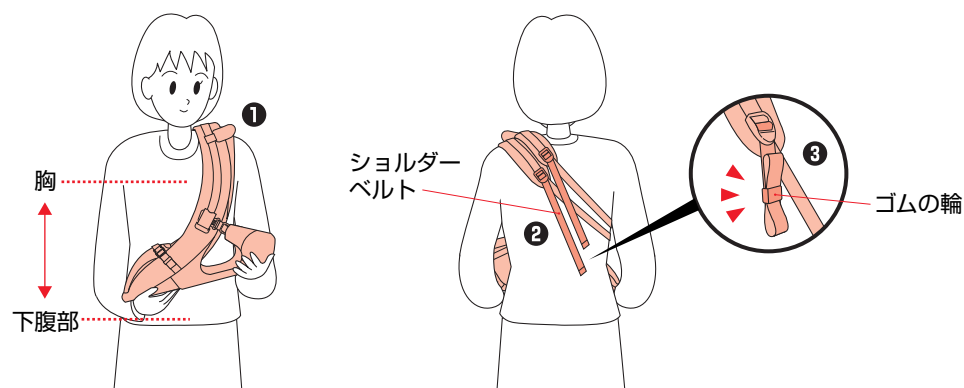
・購入時、バックボードは本体に取り付けられています。

〈バックボードの手による確認〉

❶クッション面がお子さま側にありますか。
❷ヘッドサポートの継ぎ目まで差し込まれていますか。

〈ヘッドサポートを立ち上げる〉

❸回転バックルベルトを短く調節し、ヘッドサポート部を立ち上げる。（P6参照）

〈ショルダーベルトの長さを調節する〉

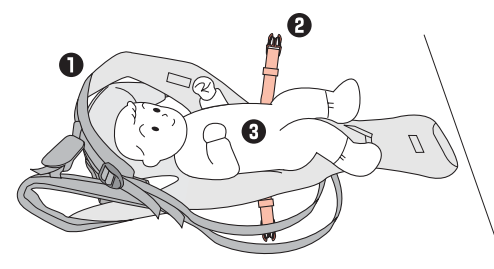
・お子さまを乗せる前に装着者の身体にショルダーベルトがあうように長さを調節する。

❶左右のショルダーベルトを重ね合わせ、肩から脇へ斜めにかける。
❷子守帯が装着者の胸から下腹部までの高さになるようにショルダーベルトを調節する。（P6参照）
❸ショルダーベルトの端部を、ゴムの輪に通し短くまとめる。

ヨコ抱っこする時は

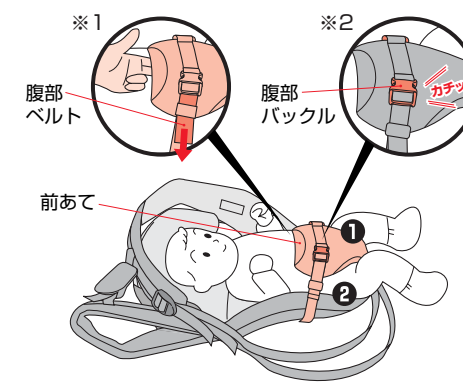
・お子さまやペットが子守帯を引っ張ると思わぬ事故やけがをするおそれがあります。周りにいないことを確認し、取り付けを行ってください。

1 お子さまを子守帯に乗せる

❶安全な場所に子守帯を広げる。
❷腹部バックルを外す。
❸お子さまを寝かせる。

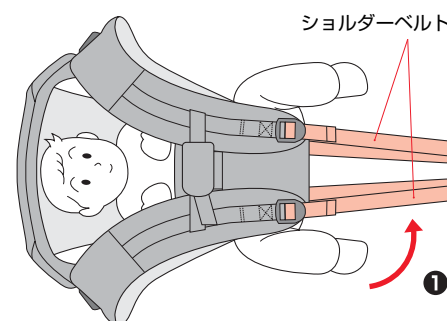
⚠警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

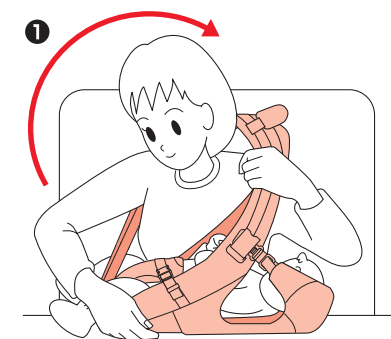
2 腹部バックルをとめる

❶前あて部をお腹に乗せる。
❷腹部バックルを差し込み、調節する。

アドバイス

※1 お子さまのお腹周りは、大人の指が2〜3本入る程度に腹部ベルトを調節します。
※2 腹部バックルはカチッと音がするまで差し込み、外れないことを確認します。

3 ショルダーベルトを股に通す

❶左右のショルダーベルトをお子さまの股に通す。

4 お子さまを抱っこする

❶左右のショルダーベルトを重ね合わせ、肩から脇へ斜めにかける。

アドバイス

・取り付け後、P9「ヨコ抱っこのチェック」を必ず確認してください。

ヨコ抱っこのチェック

・鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。

・左右どちらの肩に掛けても使用できます。

・お子さまを両手で支えて使用してください。

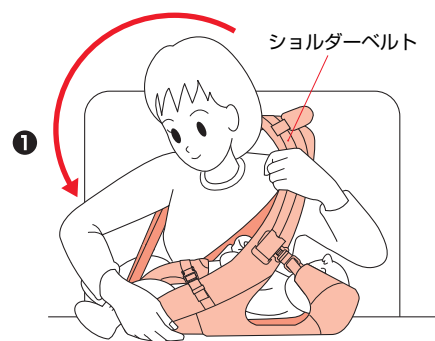
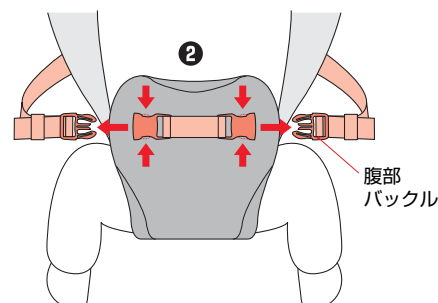
・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

⚠警告

・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

お子さまを降ろす時

❶お子さまを安全な場所に寝かせ、ショルダーベルトを装着者の肩から外す。
❷腹部バックルを外し、お子さまを降ろす。

⚠警告

・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

・お子さまを降ろす時は、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

タテ抱っこ〈首がすわってから 体重13kgまで〉

タテ抱っこする時は

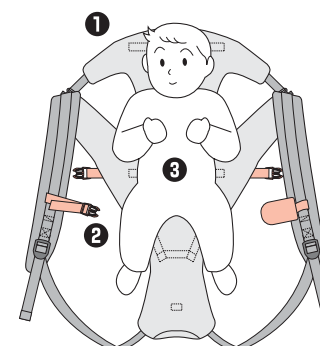
〈4月頃〉～〈24月頃〉
（首すわり）

※腰すわり〈7月頃〉以降は取り外しても使用できます。

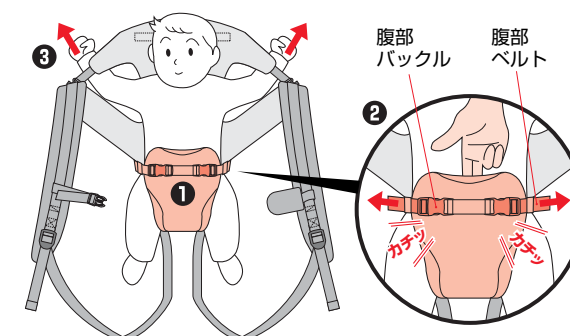
〈子守帯にお子さまを乗せてから抱っこする場合〉

1 お子さまを子守帯に乗せる

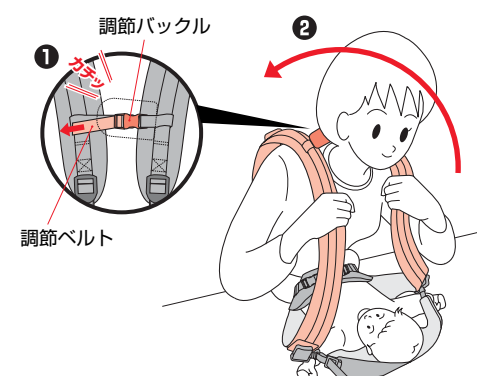
❶安全な場所に子守帯を広げる。
❷腹部バックル、調節バックルを外す。
❸お子さまを寝かせる。

⚠警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

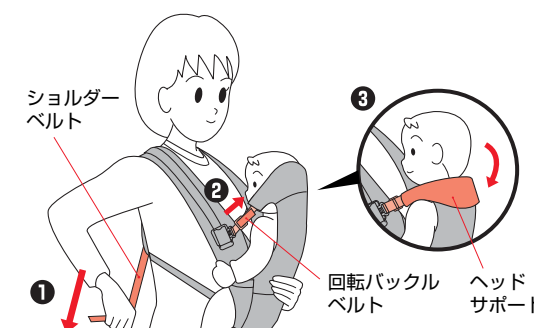
2 腹部バックルをとめ、お子さまの両腕を通す

❶前あて部をお腹に乗せる。
❷腹部バックルを差し込み、調節する。
❸お子さまの両腕を通す。

アドバイス

・お子さまのお腹周りは、大人の指が2～3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

3 調節バックルをとめ、お子さまを抱っこする

❶調節バックルを差し込み、調節する。
❷左右のショルダーベルトを両肩にかける。

4 ヘッドサポート部を折り返す

❶ショルダーベルトを調節する。
❷回転バックルベルトを調節する。
❸ヘッドサポート部を折り返す。

アドバイス

・取り付け後、P12「タテ抱っこのチェック」を必ず確認してください。

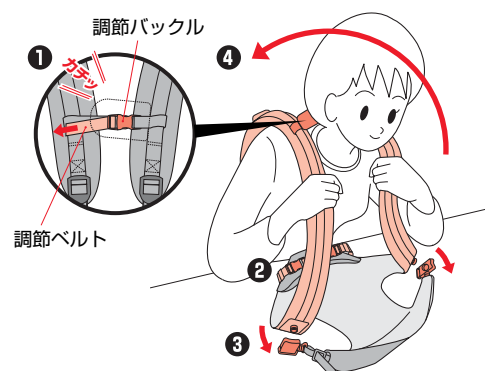
タテ抱っこする時は

※腰すわり〈7月頃〉以降は
取り外しても使用できます。

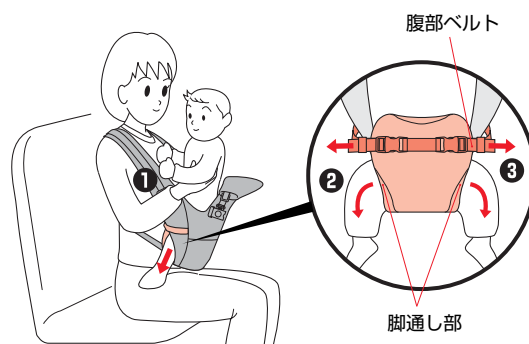
〈子守帯を取り付けてからお子さまを抱っこする場合〉

1 子守帯を取り付ける

❶調節バックルを差し込み、調節する。
❷腹部バックルを差し込む。
❸回転バックルを外す。
❹左右のショルダーベルトを両肩に
かける。

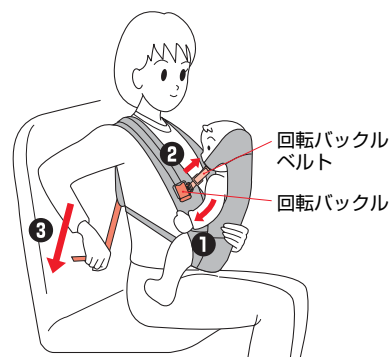
⚠警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

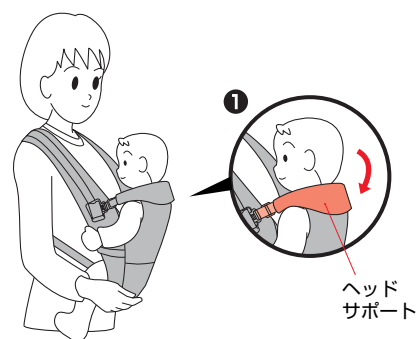
2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

❶お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。
❷両足を左右の脚通し部に通す。
❸腹部ベルトを調節する。

アドバイス

・お子さまのお腹周りは、大人の指が2～3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

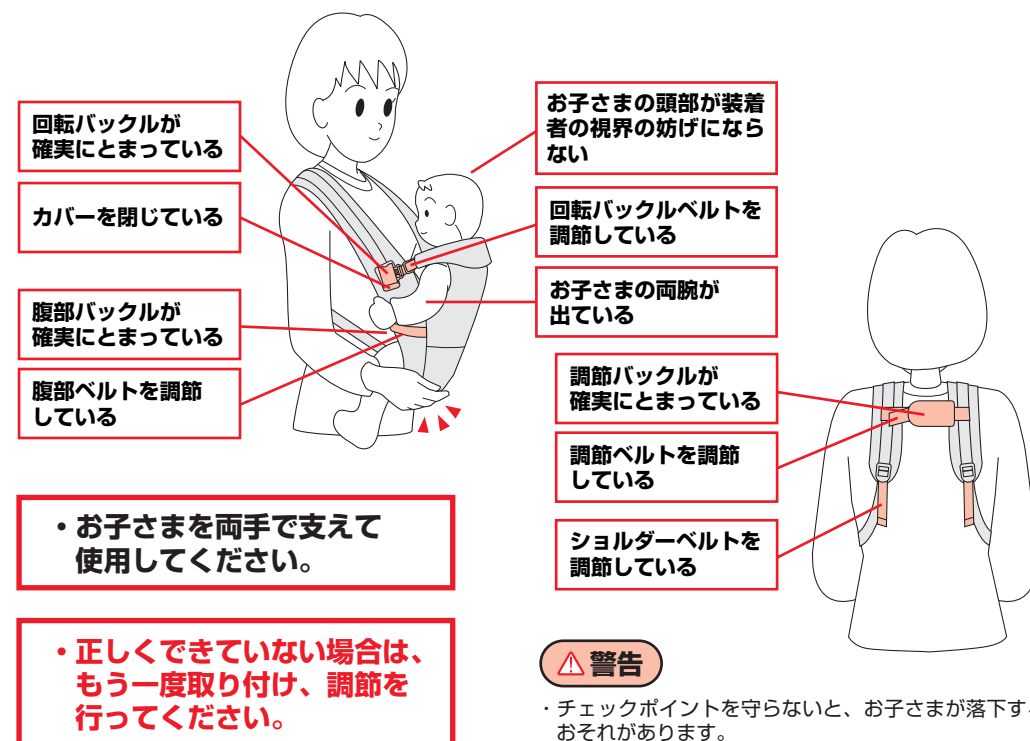
3 お子さまの両腕を出し、回転バックルをとめる。

❶お子さまの両腕を本体から出す。
❷回転バックルを差し込み、調節する。
❸ショルダーベルトを調節する。

4 ヘッドサポート部を折り返す

❶ヘッドサポート部を折り返す。

アドバイス

・取り付け後、P12「タテ抱っこのチェック」を必ず確認してください。

タテ抱っこのチェック

・鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。

・お子さまを両手で支えて
使用してください。

・正しくできていない場合は、
もう一度取り付け、調節を
行ってください。

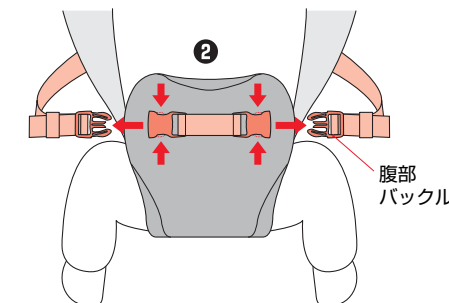
⚠警告

・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

お子さまを降ろす時

❶お子さまを安全な場所に寝かせ、ショルダーベルトを装着者の肩から外す。
❷腹部バックルを外し、お子さまを降ろす。

⚠警告

・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

・お子さまを降ろす時は、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

前向き抱っこ〈腰がすわってから 体重13kgまで〉

前向き抱っこする時は

〈7月頃〉～〈24月頃〉
（腰すわり）

1 子守帯を取り付ける

❶調節バックルを差し込み、調節する。
❷バックボードを取り外す。
❸腹部バックルを差し込む。
❹回転バックルを外す。
❺左右のショルダーベルトを両肩にかける。

アドバイス

・取り外したバックボードは大切に保管してください。

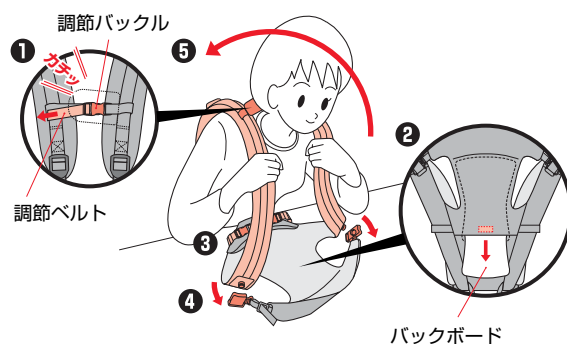
2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

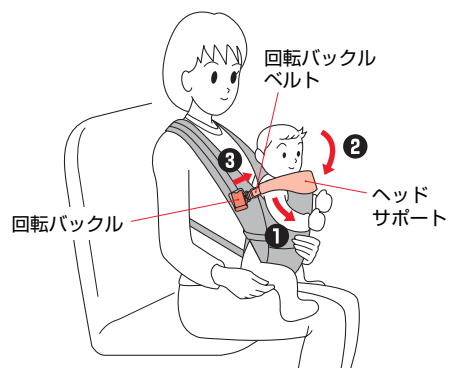
❶お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。
❷両足を左右の脚通し部に通す。
❸腹部ベルトを調節する。

⚠警告

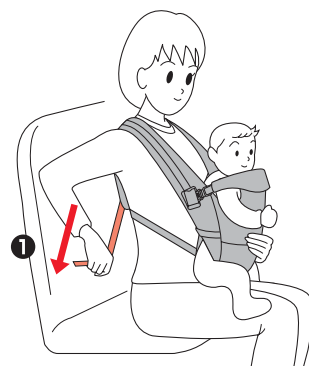
・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

・お子さまのお腹周りは、大人の指が2～3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

3 ヘッドサポートを折り返し、回転バックルをとめる

❶お子さまの両腕を本体から出す。
❷ヘッドサポート部を折り返す。
❸回転バックルを差し込み、調節する。

⚠警告

・前向き抱っこの時は、必ずヘッドサポートを折りたたむ。
お子さまが窒息するおそれがあります。

4 ショルダーベルトを調節する

❶ショルダーベルトを調節する。

アドバイス

・取り付け後、P15「前向き抱っこのチェック」を必ず確認してください。

簡易抱っこする時は

〈7月頃〉～〈24月頃〉
（腰すわり）

1 子守帯を取り付ける

❶調節バックルを差し込み、調節する。
❷バックボードを取り外す。
❸腹部バックルを差し込む。
❹左右のショルダーベルトを両肩にかける。

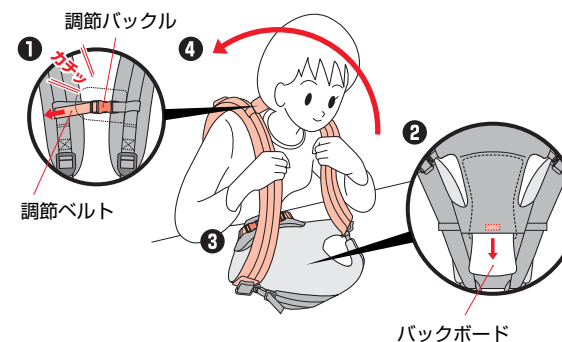
アドバイス

・取り外したバックボードは大切に保管してください。

2 ヘッドサポートを2回折り返す

❶ヘッドサポート部を2回折り返す。

⚠警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

3 お子さまを子守帯に乗せる

❶お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。
❷両足を左右の脚通し部に通す。
❸腹部ベルトを調節する。
（P13手順2❸参照）

アドバイス

・お子さまのお腹周りは、大人の指が2～3本入る程度に腹部ベルトを調節します。

・お子さまを両手で支えて使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。

4 ショルダーベルトを調節する

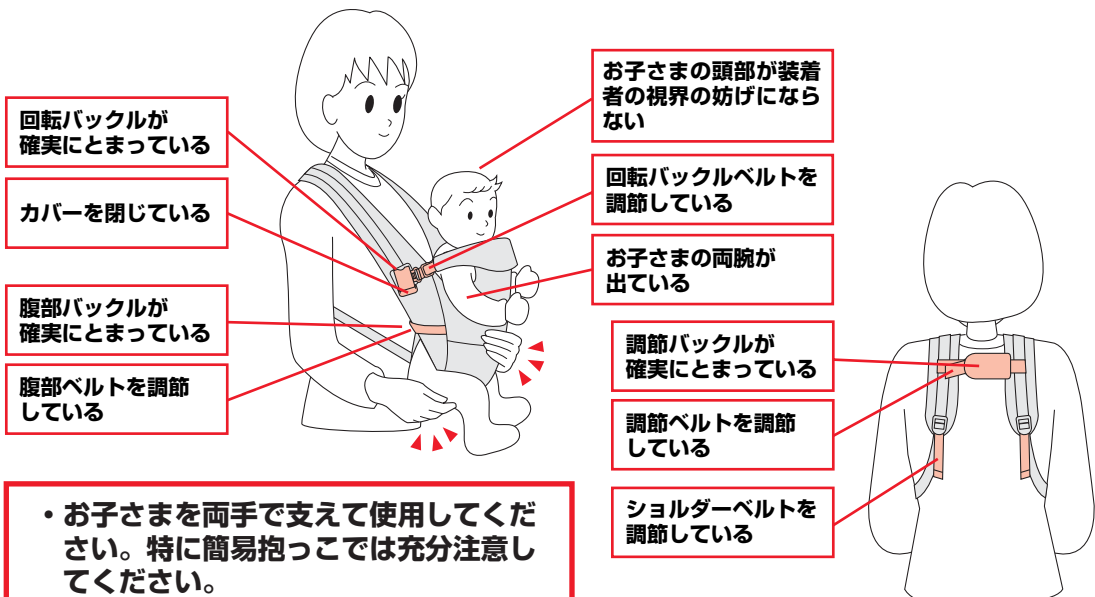
❶ショルダーベルトを調節する。
❷回転バックルベルトを調節する。

アドバイス

・取り付け後、P15「前向き抱っこのチェック」を必ず確認してください。

前向き抱っこのチェック

・鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。

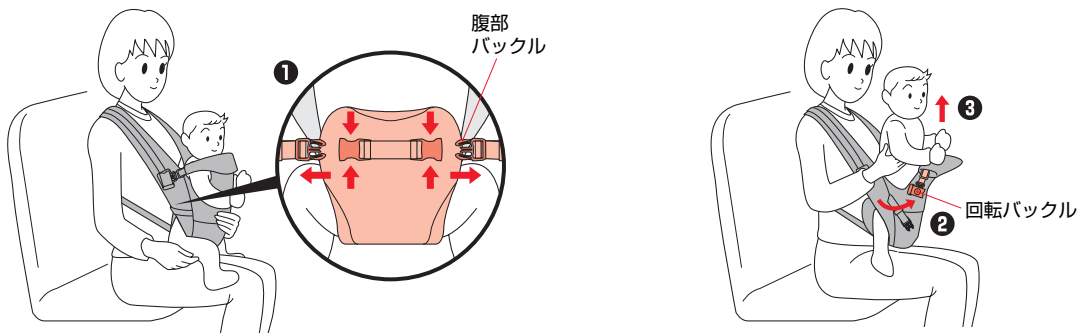
・装着者からお子さまの顔が見えませんので、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

・お子さまを両手で支えて使用してください。特に簡易抱っこでは充分注意してください。

・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

⚠警告

・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

お子さまを降ろす時

❶装着者が安全な場所に座り、腹部バックルを外す。❷回転バックルを外す。❸お子さまを降ろす。

⚠警告

・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

・お子さまを降ろす時は、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

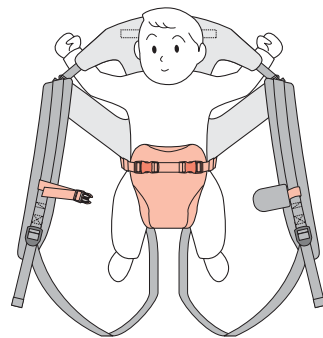
おんぶする時は

〈4月頃〉～〈36月頃〉
（首すわり）

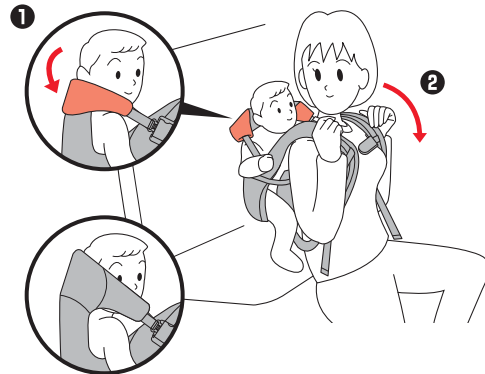
※腰すわり〈7月頃〉以降は取り外しても使用できます。

1 お子さまを子守帯に乗せる

・P10「タテ抱っこする時は」の手順1、2を参照して、子守帯にお子さまを乗せる。

⚠警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

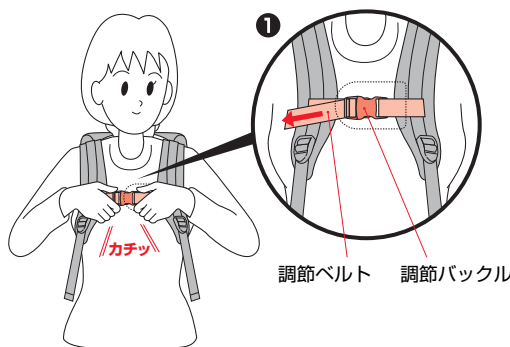
2 ヘッドサポート部を折り返し、お子さまを背負う

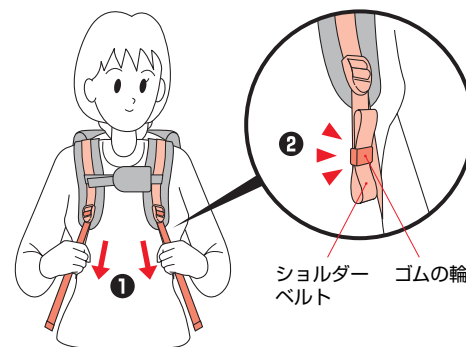
❶ヘッドサポート部を折り返す。
❷姿勢を低くした状態で、ショルダーベルトを両肩に背負う。

※ヘッドサポート部を折り返さずに使用することもできます。

アドバイス

・お子さまを背負う時は、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

3 調節バックルをとめる

❶調節バックルを差し込み、調節する。

4 ショルダーベルトを調節する

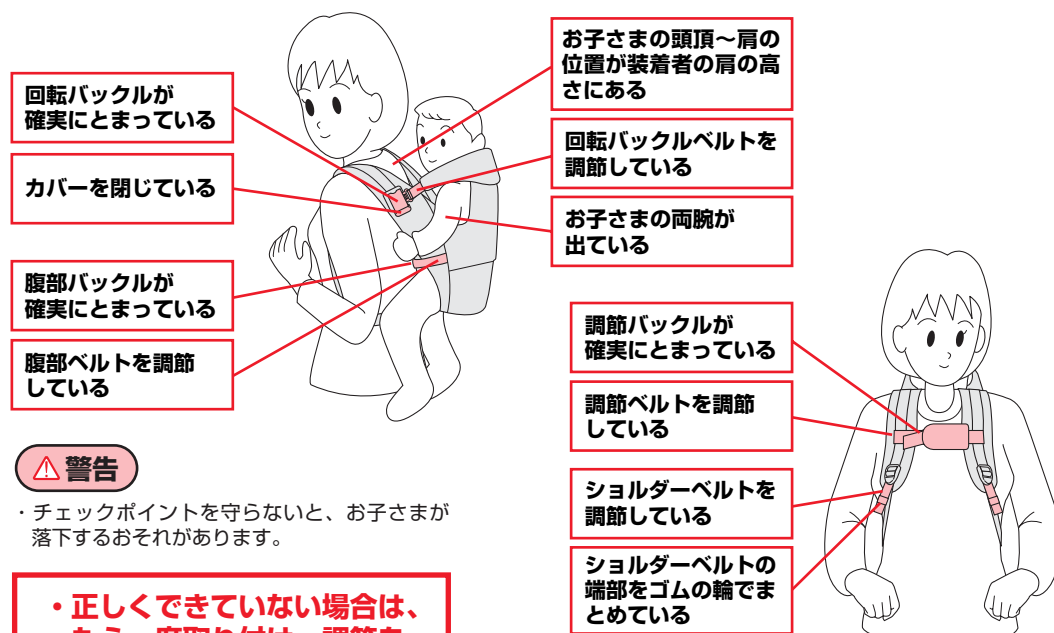
❶ショルダーベルトを調節する。
❷ショルダーベルトの端部をゴムの輪でまとめる。

アドバイス

・取り付け後、P17「おんぶのチェック」を必ず確認してください。

おんぶのチェック

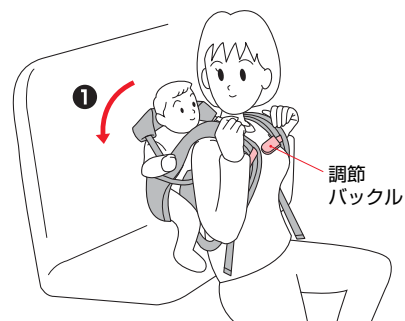
・鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。

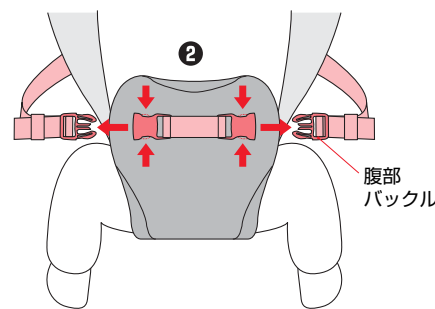
・装着者からお子さまの顔が見えませんので、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

⚠警告

・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

お子さまを降ろす時

❶調節バックルを外し、ショルダーベルトを装着者の肩から外す。
❷お子さまを安全な場所に寝かせ、腹部バックルを外し、お子さまを降ろす。

⚠警告

・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

・お子さまを降ろす時は、他の人に手伝ってもらうとより安全です。

お手入れについて

〈お願い〉

・バックボードは洗濯しないでください。（洗濯前に取り外してください。）
・洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。
バックルなどの破損につながるおそれがあります。

〈軽度の汚れの場合〉

・湿らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干ししてください。

〈洗濯される場合〉

・蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので、使用しないでください。
・色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
・30℃以下の水で押し洗いし、形を整えて干してください。
・漬け置きしないでください。
・洗濯後、充分乾燥させて使用してください。乾燥が不充分な場合、カビなどが発生する可能性があります。

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL **0120－415－814**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

SGマークについて

SGマークが表示された製品は安心してお使いいただけます。

SGマークが表示された製品は安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後3年以内です。

賠償についてのご注意

・認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2−20−2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03−5808−3303

〈事故賠償に必要な項目〉
①事故の原因となったSGマーク表示の製品
　イ）製品の名前、SGマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
　イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
　イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）